

# 第1回「女性が輝く社会づくりにつながるトイレ等の環境整備・利用のあり方に関する協議会」

## 議事概要

日時：平成27年6月12日（金）13：30～15：30

場所：合同庁舎2号館低層棟共用会議室3A・3B

議事：協議会の設置について

：委員からの情報提供について

①小林委員 ②仲委員 ③千代田区 ④八王子市

：協議会検討項目（案）について

：ワーキンググループの概要について

冒頭、瀧口総合政策局長の挨拶の後、本協議会の座長をお願いしている大森宣暁氏（宇都宮大学大学院工学研究科教授）から挨拶いただいた。大森座長の進行のもと議事が進められ、委員からの情報提供、事務局から各種資料の説明の後、意見交換が行われた。

協議会で検討を進めるため、ワーキンググループ会合を設置することについては、資料8に記載のとおり了承が得られた。

意見交換の場で出た主な意見は以下のとおり。

### 〈資料3～資料6「委員からの情報提供」について意見交換〉

- 八王子市では、授乳室やおむつ替えスペースを増やす取組み（赤ちゃん・ふらっと）に力を入れており、補助率が10分の9ということであるが、東京都で他にもこのような取組みをしている地方公共団体はあるか。
- 八王子市のように補助という形で実施している地方公共団体はあまりないと思われる。

### 〈資料7「協議会検討項目（案）」について意見交換〉

- 清掃、維持・管理という項目がないように見受けられる。快適なトイレを作ることは設計・施工から始まり、維持・管理が大きな要素となるため、検討項目（案）に清掃、維持・管理を含めた方が良いのではないか。

〈事務局〉

- トイレの清掃、維持・管理は資料7 1. (1) ハード的項目「○トイレの快適性・清潔性の向上 清潔なトイレ環境の整備」に含めている。明示的ではないが、維持・管理は重要な項目と認識。
- トイレの空間も快適性に含まれる。空間の基準が設けられておらず、場所によっては公共施設を含め狭い洋式トイレがある。その点では和式はトイレ前方の空間が広いこともあり、和式トイレを利用する人もいる。
- パーキングエリアは洋式トイレが多く、和式トイレを利用したい人が並んでいるという光景を見たことがある。スペースの問題だけで洋式化を進めてよいのか。

〈事務局〉

- 「暮らしの質」向上検討会で、高齢者にとって和式トイレは使いずらく洋式化が好ましいとの議論があった。また、3月に当省で行った意見交換会では和式トイレは利用率が低く、利用率が低い和式トイレを維持・管理するよりも、洋式化を進めることで利用率をあげていく方が好ましいのではないかと議論があった。その一方で和式トイレを利用したいという声もあることから、和式トイレと洋式トイレの配置バランスについても検討することとしたい。
- 意見交換会において、パーキングエリアについてはトイレを作るスペースも広いことから、全て洋式化するのではなく、御要望に応じて和式トイレを追加しているとの話があった。また、例えば駅空間のようにスペースの制約があり御苦労されている分野では、洋式化を進める方がよいのではないかという話があった。
- 公園のトイレも検討するのか。

〈事務局〉

- 公衆トイレとして観光地のトイレとともに検討の対象としている。
- 最近は全自動タイプのトイレもあり、日本人にとってもわかりづらい仕様がある。観光立国を目指す日本として、訪日観光客に対してトイレの利用方法をわかりやすく表示する必要があるのではないか。

〈事務局〉

- 訪日観光客に対しては、温水式洗浄便座など操作ボタンが多いトイレの利用方法

を理解してもらうために情報提供も必要と考えており、検討していきたい。

- 「暮らしの質」向上検討会の取りまとめでは災害・防災の観点からトイレの議論がされているが、資料7の検討項目（案）に入っていないのはなぜか。

〈事務局〉

- 「トイレ」という視点は広範囲に渡るため、災害・防災の観点は内閣府の防災担当にお願いをしたい。また、学校のトイレの問題は文科省が所管となる。災害・防災や学校のトイレと当省の分野が全く関係ないわけではないが、幅広く議論をまんべんなく行うのは難しいため、本協議会は国土交通省が主体となる分野について取り組むこととさせていただきたい。
- 授乳室の個室化が進んでいるため混んでいる現状がある。個室化が良いかどうかを議論されておらず、ワーキンググループで検討してほしい。専門家の話も聞いてみたい。
- 授乳室は個室や共用スペースのいずれかを選ぶことができるとよいと考えている。授乳をしながら、他の方々の様子を伺ったり、子育ての悩みをお互いに相談したりできるような空間があると良い。
- 検討項目（案）に男女共同参画に配慮した授乳・おむつ替えスペースの確保という観点をいれてほしい。
- 検討項目に授乳・おむつ替えスペースの他、「調乳」という項目を加えてほしい。これらに関するマークが統一されておらず、おむつをマークにしたスペースが調乳スペースであったりすることがある。また、全てが同じ空間になっているため女性しか利用できない現状がある。「調乳」については安全・衛生面でもしっかりとする必要があり、「調乳」「授乳」「おむつ替えスペース」としていただきたい。

〈事務局〉

- 授乳・おむつ替えスペースについて個室や共用スペースといった視点もいれて検討していくこととしたい。
- 「調乳」を検討項目に明記する。
- 男女共同参画に配慮した取組みとして、男女共同で利用できる「調乳」や「おむ

つ替え」などのスペースについても「検討項目」に位置づけることとしたい。

- トイレがコンパクト化され、扉の形状も複雑化しており、どのように開閉してよいかわからず困っている方を見かける。
- オムツが外れた後もまだまだ介助が必要であったりするので、子ども連れでのトイレ利用についても、ハード面とソフト面で検討していただきたい。

〈事務局〉

- トイレ等の問題は、女性が輝く社会づくりに向けて政府をあげて取り組むことになっており、国土交通分野においてもしっかりと対応していくため、本日から取り組みを始めさせていただいたところ。

当事者から実情をお聞きし、「暮らしの質」向上検討会でも色々な情報をいただいた。また、本日、構成員の方々から御説明いただいた中でも、今まで理解していなかったお話がたくさんあった。本日、御指摘いただいた部分も含めて、今後のワーキンググループでしっかり議論して協議会にお戻りする。そして女性が輝く社会づくりに貢献し、最終的にはすべての人が豊かになるユニバーサル社会の実現に向けてしっかり取り組んでいきたい。今後も御協力をいただきたい。

以上